

第 557 回 放送番組審議会

1. 日 時 2019 年 11 月 19 日 (火) 午後 1 時 30 分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6 階大会議室

3. 委員総数 9 名

出席委員 7 名

副委員長	大橋 綾子
委員	佐藤 健志
委員	加藤 千晶
委員	渡辺 理雄
委員	前田 千香子
委員	石田 亨
委員	柿木 康孝

欠席委員 2 名

委員長	恒川 かおり
委員	高橋 司

社側出席者

榎野 信治	(代表取締役社長)
青山 尚之	(専務取締役事業局長)
柴柳 二郎	(報道制作局長)
丸谷 尚史	(報道制作局制作部担当部長)
遠藤 隆	(報道制作局シニア・ゼネラルプロデューサー)

事務局

畑山 篤	(取締役編成局長 兼 放送番組審議会事務局長)
------	-------------------------

4. 議 題

1. 10/18(金) 19:00～19:56 金曜MOVE

キネマの旅 ～「山懐に抱かれて」上映日記～

2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

・視聴者からのご意見

6. 意 見

委員側意見

- 地元のドキュメンタリー映画が全国各地で上映されて、映画が感動を皆に与えたこと、そして映画の良さを伝えられたというのがよくわかり、非常に素晴らしい企画だった。
- 地方のああいふ小さな映画館の経営は相当大変だと思う。大変だけれども、他の店舗とかにしないで映画館を守っていただいている、そういう気概というようなものを感じた。
- すごく内容が盛りだくさんだったので、いっぱいだったなという感じも受けたところは事実あった。各地の映画館の状況、苦闘とスタッフの制作秘話という部分という2つとももっと掘り下げていただいたらなお良かった。
- 今回は「キネマの旅」という映画館を巡る旅だったが、こういった全国での上映をどうやって成し得たかというのも少し見たかった。
- 本来の小さな映画館、地方の映画館の実情に触れてもらって、こういった特に地方、同じ岩手では重なる面もあるので、こういったことは全国にもあるということがわかると、またそこでいろんな人の繋がりが出来たりして新たな発展になるというなと思った。
- 日本最古の映画館とか全国様々な映画館の様子を伝えたかったのか、それとも映画の内容なのか、あるいは人々の思いなのか、吉塚さんの人間性なのか、率直に言って、番組を見終えて感じたことは、何を伝えたかったのかな、というふうに疑問に思った。おそらく伝えたいことが多すぎたんじゃないかなということと、ポイントが絞り切れなかったのかなというふうに思う。
- 取材される側は、取材によってなんらかの影響が出ないことはないと思う。その点をすごく気を付けていらっしゃるながら、そのご家族の成長の物語に寄り添う形で取材してきたと思うが。

局側意見

- 映画化のきっかけは、自社が開局50周年を迎え、後々に残せる作品を作れないか、

というところからだった。

- 作品の宣伝と映画館での上映交渉はこの手の映画の PR などを手がけている外部の会社と契約してやった。
- 上映が出来なかった映画館側の言い分は「ドキュメンタリーなんかやったって当たるわけがない。」「ドキュメンタリーなんか見るやつはいない。」というものだった。
- 番組の狙いやターゲットは特に絞らず、色々な出来事の中から、暖かさとか大変さとかそういったものが見る方に色々な反射の仕方をする、それをある意味では委ねた形にした。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

公表の方法

- ①自社放送 11月26日(火)11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き
- ③読売新聞への掲載(別添)
- ④自社HPでの掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>